

山鹿中学校便り「チャレンジ&エラー」

令和4年4月15日(金) No.1 文責 藤島浩一

令和4年度の山鹿
中学校が4月8日(金)

令和4年度 山鹿中学校がスタートしました。

からスタートしました。生徒達は、春休みに大きな事故や事件等に巻き込まれることなく無事に新学期をスタートすることができました。8日(金)は、新任式や始業式があり、新しく山鹿中学校に来ていただいた26名の職員の紹介や新しい学級の仲間と担任の先生、そして学年所属の先生方の紹介がありました。みんなワクワクした期待感を表情にだしていました。また、新しい仲間との出会いに期待と不安を抱きながらも整然とした態度で始業式に参加できていました。始業式の式辞では、昨年度、多くの行事や学習・委員会活動・部活動等で仲間と関わりながら自分を高め成長できた力を新しい学年・学級で活かしてほしい、と伝えました。そのためにも土台となる生活習慣を整え、力が発揮できる生活環境をつくりましょう、と伝えました。生徒達の入場してくる姿や真剣に聞き入る姿に、成長と今後の期待を強く感じた始業式でした。



入学式、緊張しながらも頑張っってやり抜きました。



今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の中での入学式が実施されました。そのような中でも新入生は、背筋を伸ばし、瞳を輝かせながらの入場、式の最中でも姿勢を崩すことなく、真剣な態度からの心のもった返事に、これからの中学校生活を頑張っって行こうという意気込みを強く感じました。昨年に引き続き、話を聞く態度や凛とした姿勢は、山鹿中の伝統を引継いでくれた気がしています。まさに、宝であり、

山鹿市の活力となると確信しました。そんな新入生を確かにお預かりし、82名の教職員が保護者の皆様方と信頼でつながり合い、共に生徒達の成長を後押ししていければと思います。今後ともよろしくお願ひします。また、会場の設営や片付け、一年生教室の装飾を手伝ってくれた先生方や生徒たちにも感謝です。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取組の徹底



新型コロナウイルス感染については、いわゆる第6波が高止まりをしている状況であり、終息が見えないばかりか逆に増加傾向にあります。このような状況の中、山鹿中学校においても新型コロナウイルス感染者が増加しており心配な状況です。しかしながら、現在、感染拡大が予想される状況ではなかったこと、感染者数が減少していること、の状況であったことから教育活動を継続しています。ただ、10歳未満や10歳代の感染者が多い現状からもこれまで以上に、「3密の回避」、「マスクの着用」、「手洗いや手指消毒」「換気」を徹底して、感染及び感染拡大防止に努めてまいります。今後も感染防止対策を行いながら教育活動を行ってまいります。ご理解と御協力をお願いします。なお、不安や不明な点がございましたら担任又は教頭までご連絡願ひします。

令和4年度山鹿中学校の教育目標について

令和4年度の教育目標は「共に自立をめざし、学び続ける生徒の育成」とし、サブテーマとして「～認め合い、つながり合い 高め合う活動をとおして～」としました。昨年に引き続きです。昨年度は、コロナ禍でしたが、友達との関わりをベースに学校・学年・学級行事等や委員会活動、部活動及び授業等での様々な経験により、生徒達は多くを学び成長してきました。そして、その成長が自立する力にもなっていました。そんな姿をたくさん見ることができ、嬉しく思うと同時に頼もしさも感じました。また、考え方や行動の仕方等においても幅が広がっていると実感しています。そんな力が今年度でも見られるように、教育目標を掲げました。生徒達と保護者のみなさま、そして、職員が教育目標という同じ方向に向かって、共に歩んでいければと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

令和4年度の教育目標は「共に自立をめざし、学び続ける生徒の育成」と

※昨年度、「コロナ禍のため保護者参加の行事が少なく、学校の様子が分かりにくかった。」というご意見をいただいておりますので、生徒達の活動をいっぱい発信していきます。どうぞホームページをご覧ください。